

ガソリンの貯蔵・取扱いについて

容器は密栓！ 圧力に注意！

- 保管時はキャップとネジをしっかりと締め、日陰で風通しの良い場所に置きましょう。
- 温度が高くなると、容器内のガソリンの蒸気圧も高くなり、そのまま開けると吹きこぼしたりすることがあります。
- 使用時はエア調整ネジを緩めガス抜きをしてから、キャップを開けましょう。

火気厳禁！

- ガソリンは引火点が約 -40°C と極めて引火しやすい危険物です。
また、静電気が蓄積しやすいので、消防法に適合した金属製容器(携行缶)に保管し、
地面に直接置くなど静電気を逃がすようにしましょう。
- ガソリンを取り扱うときは、周りに火の気がないことを確認しましょう。
また、発電機等に給油するときは必ずエンジンを停止しましょう。



催し等で使用する際は、
消火器を準備しましょう！

問い合わせ先：鶴岡市消防本部予防課 (TEL 22-8332)

